

多様なニーズに応える道路空間のあり方に関するケーススタディ地区 公募要領

1. 目的

社会情勢の変化に応じて、これまで自動車の安全かつ円滑な通行が主目的であった道路空間の利活用へのニーズが、歩行者や自転車等の安全で快適な通行空間の確保、賑わい空間、低速モビリティの通行など多様化してきており、道路空間の利活用の更なる高度化や多様なニーズに対応した道路空間の再編が求められている。

このような中、国土交通省では、多様なニーズに応える道路空間のあり方について、有識者で構成する検討会を立ち上げ、その方策等を検討しているところである。今後、道路への機能分担や配置の考え方は、地域ごとに異なることから、地域特性等が異なるケーススタディ地区をそれぞれ選定し、当該地域での機能分担や道路空間の柔軟な使い分け方、合意形成手法や評価方法等について検証していく。

本公募は、多様なニーズの道路空間の再編のあり方の検討について、国と連携して具体的な調査・検討を実施するケーススタディ地区を公募するものである。

2. 募集内容

(1) 支援内容

ケーススタディ地区ごとに既存の協議会等の体制と連携して、多様なニーズを踏まえた道路空間の再編の実現に向けた調査・検討を実施する。また、必要に応じて有識者等による助言等を行う。

<調査・検討項目>

- ① 道路ごとに必要な機能分担及びその配置の考え方について
- ② 道路空間を柔軟に使い分ける考え方と構造、運用の考え方について
- ③ 関係者との合意形成の進め方

<調査・検討時期>

令和3年4月～令和4年3月

(2) 募集要件

- ・道路空間の再編や利活用について、検討中または検討を予定していること。
- ・警察、地元などの関係者と協議が行える体制が構築されること。

(3) 申請者の要件

- ・地方公共団体であること。

3. 応募方法

(1) 応募期限

- ・令和3年2月26日まで

(2) 応募内容

1) 団体名

2) 対象区域の概要

- ・対象区域の概要（位置図、取り組みなど）
- ・都心部、商店街、観光地等の種別
- ・道路空間の再編や利活用を進めていく上での課題

3) 課題解決に向けた事業概要

- ・まちづくりのビジョンや基本方針
- ・バイパス整備など周辺交通処理の状況
- ・道路への機能分担や配置の考え方及び状況
- ・道路空間を柔軟に使い分ける取り組みの工夫について

4) 事業の運営体制・スケジュール

- ・道路空間再編の検討体制
- ・再編後のマネジメント体制
- ・事業スケジュール

4. ケーススタディ地区の選定方法

応募内容に基づき、的確性、実行性等から総合的に評価・選定する。

項目	概要
(1)的確性	応募内容が本調査の公募趣旨に合致し、取組内容が対象区域の課題解決に寄与することが見込まれること。
(2)実行性	ケーススタディ地区調査の実施にあたり、円滑な事業実施に向けた関係者との推進体制が構築されること。
(3)継続性	ケーススタディ地区の事業が次年度以降も継続的に予定されていること。
(4)その他	その他、公募要領等に合致していること。

5. 今後のスケジュールについて

- ・選定公表：令和3年3月
- ・調査検討：令和3年4月～令和4年3月

6. 応募手続き

○提出先

窓口：一般財団法人 日本みち研究所 ケーススタディ地区公募事務局 見明、丸山

住所：〒135-0042 東京都江東区木場 2-15-12 MAビル3F

TEL：03-5621-3115

Mail：diverse@rirs.or.jp

○提出方法

上記担当窓口へ、電子メールにて様式に基づく申請書（PDF）を提出すること。

※参考資料の提出は認めない

※提出時のメール件名は、「【提出】（団体名）ケーススタディ地区募集」とすること

※受領できるファイルサイズは18MBであるため、容量を超える場合の対応は、担当窓口
に問い合わせること

※提出期限は令和3年2月26日まで

7. 応募結果の公表について

○公表時期

令和3年3月

○場所 国土交通省 ホームページ

https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/diverse_needs/

8. 相談・問い合わせ先

○問い合わせ先 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 山本、坂ノ上

住所：〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3（中央合同庁舎第3号館1階）

TEL：03-5253-8111（内線 38232、38234）

Mail：yamamoto-h2v3@mlit.go.jp、sakanoue-y22aa@mlit.go.jp